

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	◎	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新規感染者数の減少により、来客数がかなり戻ってきている。今後の年末商戦でそれが購買に結び付けてくることを期待している。
(東北)	◎	観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染が抑え込めれば、年内の集客に関しては期待できる。
	◎	観光型ホテル（スタッフ）	・G o T oキャンペーンの再開が予想される。
	◎	旅行代理店（従業員）	・第6波さえ来なければ、G o T oキャンペーンなどの国の施策もフォローに働き、今以上に良くなるとみられる。
	○	商店街（代表者）	・時短要請が9月末で解除されたので今月は多少の動きはある。かなり消費が低迷しているの、この先それほど悪くはならないとみている。当市では8～9月が底のような気がしている。これからは上がるだけだが、上がったたり下がったりという感じになるとみている。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症は収束に向かっている。
	○	商店街（代表者）	・多くの人がワクチン接種を終えたことにより、外出する人が増えている。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	・忘年会など人が多く集まる機会が増えるので、酒も売れると予想している。
	○	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、冬も近づいてきているので、商品の動きが期待される。
	○	百貨店（売場主任）	・ワクチン接種が進んだことで個人消費が上向き、外出や旅行、対人交流に関連した需要の回復にもつながるものと期待する。
	○	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、ワクチン接種も進んでいることで、来街や来店の傾向は横ばい若しくは多少の改善が想定される。
	○	百貨店（経営者）	・飽くまで新規感染者数の落ち着きが前提となるが、消費喚起の施策が官民主導で数多く実施されることで人の動きも活発になり、それに応じてちょっとした手土産などの贈答需要やファッションアイテムなどの自家需要も前年以上までには拡大するとみている。
	○	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者数の急激な減少により、年末に向けて明るい兆しがみえてきた。第6波が心配されるが、このままでいけば帰省客もかなり増加することが予想される。
	○	コンビニ（経営者）	・土日の来客数が伸びてきている。全体的に見ても101%とやや上向き傾向にある。依然として客単価や購入数は堅調なので、後は当店の立地からすれば、県外からの出張客や観光客が来れば元の状態に戻るものとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が進んでいることと新規感染者数の減少により、人の動きが良くなることが予想される。
	○	コンビニ（エリア担当）	・第6波次第だが、コロナ禍は収束しつつあり、年末年始は例年と同様の動きとなる可能性があると思込んでいる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響がなくなり、特に週末の来客数の増加が見込める。
○	コンビニ（店長）	・新規感染者数の激減により休日の観光、外出が増え、来客数が伸びてくるのではないかとみている。	
○	衣料品専門店（経営者）	・確実に人流は増えているので、景気回復のスピードは速まると予測する。	
○	衣料品専門店（店長）	・これから新型コロナウイルスの新規感染者数が減り、景気回復のカンフル剤となるG o T oキャンペーンなどの経済政策によって、これまで金が回っていなかった飲食や宿泊、我々のような出張や晴れの日に関連したマーケットが動いてくるようになると、経済は順調に回り出すとみており期待している。	
○	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス第6波への備え、インフルエンザワクチン接種の実施など、感染に気を付けながら消費に関して徐々に日常を取り戻す行動をする人が増えてくると予想している。	
○	衣料品専門店（総務担当）	・コロナ禍の制限が緩和され行動が活発になることにより、購買頻度が上がることを期待する。	

○	家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染が収束を迎えつつある状況で、来客数の増加が見込める。
○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・緊急事態宣言解除や飲食店への時短要請解除により、徐々に客足が戻ってくることを期待しているが、まだまだ時間は掛かるとみている。一般企業も飲食店側もかなり慎重になっている。事態が収束しても元のようににはならないとみている。
○	その他専門店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がこれ以上広まらなければ人の動きがより活発になると予想される。
○	その他専門店〔靴〕（従業員）	・旅行や出張の動きが出てくるとみている。
○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・行楽シーズンに向けて都市部からの客がたくさん来れば多少なりとも良い影響があるとみている。都市部に比べて郡部はその実感のタイムラグがあると思うが、それでも期待している。
○	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・今年の冬は寒くなるとの予報が出ているので、灯油の売上増加が見込まれる。
○	高級レストラン（支配人）	・新型コロナウイルス新規感染者数が少なくなるにつれ、週末から来客数の動きが出てきている。ランチタイムと金土日の夜は大幅増えてきている。反面、テイクアウト需要が少し減ったようである。
○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が落ち着いていけばという願望が大いにある。それが全てである。このまま少しずつでもいいので回復してほしいと願っている。
○	一般レストラン（経営者）	・11～12月を迎えて、忘年会と規制解除が重なって、幾らかは良くなるとみている。
○	観光型旅館（経営者）	・再び新規感染者数が急増しなければ、ある程度は回復していくだろうとみている。
○	旅行代理店（従業員）	・油断できないことが前提ではあるが、個人旅行と教育旅行を中心に売上は回復傾向にあることから、2～3か月先まではやや好調を維持できる見込みである。Go To Travelキャンペーンの復活があれば一般団体の動きが加速し、更に上積みできることが想定される。
○	旅行代理店（従業員）	・前月までがいわゆる底なので、以後は上向きになると期待したい。しかし、第6波が来れば人流抑制により旅行需要の減退が訪れる。需要の波が続くものと想定して取るべき対処をしていく。
○	通信会社（営業担当）	・自宅で過ごす時間が少しずつ減少していくが、一気に元に戻ることはない。そのためテレビ、通信利用者は引き続き増えていく。特にインターネット等の通信環境を強化する動きはますます広がっていき、既存利用者のオプション追加も徐々に増える予想している。
○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数も減ってきており、営業活動しやすくなるとみている。
○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染の収束により、景気が回復傾向にある。
○	テーマパーク（職員）	・11月から団体旅行の予約などが復活している。予約客数も一気に増え、期待ができる。
○	観光名所（職員）	・前年同時期と比べ売上の数字はまだ届いていないが、来客数は徐々に戻りつつある。この状況に旅行業者の募集团体が前年並み若しくはそれ以上に入り、政府でもキャンペーンを打ってくれば、現在よりも良くなるとみている。
○	競艇場（職員）	・年末年始は人の流れがいいので、イベント等を実施し宣伝していけば客は集まる。よって、売上は現在より良くなるとみている。
○	美容室（経営者）	・年末から新年に掛かる時期であり、それなりに需要は上がってくるため今よりは良くなる。しかし、景気がどこまで良くなっていくのかという心配は残っている。
○	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・1月は年間平均の中でも来場組数が高い月となるため、良くなるとみている。ただ、未就学児がいるファミリー層の来場は見込めないため、来場は微増と見込んでいる。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少に伴い飲食店や観光等、若干の回復が見込まれるが、消費者の財布のひもは固く、景気回復には時間を要する。

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・引き続き巣籠り状態は続いているが、全体的には底上げの雰囲気が出てきているのではないかと推察している。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・2～3か月後は忘年会、新年会の時期に当たるので、当然通常の月よりはものすごく良くなる。しかし、今回は企業の70%以上が忘年会も新年会もしないというアンケートの結果が出ているので、10月のやや良くなった状況と変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔酒〕（経営者）	・今の状況が続けば、年末年始に向けて宴会等を行う企業も出てくるのではという期待もあるが、良くなればまた悪くなるの繰り返しを続けてきたからこそ、また、ぬか喜びになってしまうのではという懸念も捨てきれない。少しずつでも好転していくことを願うしかない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（買付担当）	・感染状況に変化がなければ、今後も回復傾向が続くと予想する。急激な回復は難しいが、買物を楽しんでいる様子からウィズコロナの新しい生活スタイルとして定着し継続するとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、コロナ禍で年内は自粛傾向で内食需要がまだ続くともみられ、食品小売業としては変わらない水準で推移すると予想している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業担当）	・12月は新型コロナウイルス感染の状況にもよるが、今まで自粛していた帰省は期待が持てる。それ以外の月に関しては現在と変化がなく、期間トータルでは変化なしと予測している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・少しずつでも良くなってほしいが、新型コロナウイルスの感染がこれだけ少なくなってきても客の動きがまだまだ鈍い。2～3か月後に新型コロナウイルスの影響がまた出るかもしれないし、出なければ客は動き出す。どうなるか見通せない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・今後の新型コロナウイルス新規感染者数の動向にもよるが、他国では経済活動再開から数か月で感染が拡大、緊急事態宣言が再度出るような状況もみられるので、予断を許さない状況である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が少なくなってきたが人出は少なく、以前の状態に戻るには時間を要するとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・半導体不足の影響はしばらく続くとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・車両が通常どおり生産されるようになれば売上につながるが、2～3か月先だとまだ見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきたとはいえ、まだまだ収束とはいえない。現状が続くようであれば、変わることはない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・受注生産により一物件の受注金額は多額だが、来月、再来月と分納となるため、売上はさほど変わらない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営者）	・11月以降、新型コロナウイルスの再流行がなければ良くなるだろうが、再流行すれば年末年始はほとんど見込めない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・コロナ禍が少し落ち着いてきているだけで、景気は全く良くなるはないとみている。客単価が上がっているわけではない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス次第である。新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が出されるようであれば、再び景気は冷え込む。それがなければ、現在の良い状態が継続していく。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・このまま年末まで新規感染者数が押さえ込められれば外食は一気に活気付くとみているが、先行きが不透明な以上は現状が飲食店を利用できる人数のマックスと捉えている。個人の需要が増えたとしても、法人関係の忘年会がなければ売上は伸びないので現状と大差なしと判断している。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（スタッフ）	・この状態が続けば良いのだが、第6波を考えると良くなるとも限らない。結果、変化がないとみている。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・忘年会、新年会を開催しない企業が多いことに加え、人混みの中に出掛けることを避けている人が多いことから、年明けの動きは厳しいと判断する。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・景気が好転する材料に乏しい。

□	遊園地（経営者）	・ワクチン接種は進展しているが、他方で第6波の懸念とガソリン価格の高騰がある。前年程度を期待したいが、景気の先行きは不透明である。
□	美容室（経営者）	・常連客はいるものの、新規客はなかなか来店せず変わらない。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・年末年始に懸念される第6波や3回目の接種が必要などの不安材料があって、世の中には依然として不安感が漂っている。
□	設計事務所（経営者）	・国政選挙が終了し、新型コロナウイルスの終息がみえ始め国民目線の方向性が示されれば、安心感から良い方向に向かうが、今の状態では変わらないとみている。
□	住宅販売会社（経営者）	・今年度の受注目標は金額としてみえているが、来年度の見通しが立たない。
□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住設機器については、商品の納品遅れは解消に向かっていている。リフォームについては、資材の納品遅れにより工期が延びると予想している。
▲	商店街（代表者）	・年末年始をまたぐが、新型コロナウイルスを含め先行きの不安により購買意欲が伸びないとみている。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ガソリンや燃料価格の高騰が話題になっており、そのこと自体が消費者に支出を抑制させる心理的なおもしになる。冬場の暖房コストの高騰が意外なほど店頭の業績に悪影響があったという過去の経験も考慮しなければならない。
▲	スーパー（経営者）	・11月は周りの飲食店関係、観光関係における消費行動はやや良くなるようである。しかし、農家は減収が見込まれ、また所得が減少している人も増えているようなので消費の回復が感じられるまでにはまだまだ時間を要する。政府の景気対策、新型コロナウイルス対策などに期待したいが、その効果が出るのはまだ先であり、消費は今の低迷した状態がしばらく続くとみている。
▲	スーパー（店長）	・緊急事態宣言が解除され、内食需要が減り、スーパーにとっては大きな打撃になる。来客数の減少に拍車が掛かるとみている。また、第6波も大きな懸念材料である。
▲	スーパー（店長）	・外食への流れが以前より増加していくことが影響して、食料品を中心とするスーパーは来客数や販売量の減少が予測される。
▲	スーパー（店長）	・先行きは分からないが、新型コロナウイルスの新規感染者数が少なくなってきたり、客が飲食店へ流れていく可能性が高まっている。
▲	スーパー（営業担当）	・新規感染者数が増加して巣籠り需要が増加した前年の同時期との比較になるので、反動が大きくなるのではないかと懸念している。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染者の少ない日が続いているが、来客数の増加にはつながっていない。在宅勤務の事業所が増えて、以前よりも来客数が減少している。
▲	コンビニ（経営者）	・収入の増加が見込めないことから、より安価な商品のまとめ買いの傾向は続くと思われる。
▲	コンビニ（店長）	・社会が停滞していることや選挙のこともあるのだろうが、行政が新型コロナウイルスに費やした予算が相当あり、民間に公共事業が流れにくくなってきて見通しが立たない状況のようである。緊急事態宣言が解除され良くなると思いきや、厳しい状況のようである。
▲	衣料品専門店（経営者）	・灯油価格の高騰など、これからの北国の暮らしには厳しい要素がある。
▲	家電量販店（店長）	・寒くなると暖房商品が売れるが、今のところ前年並みとみている。灯油やガソリンの価格高騰が客の購買意欲に影響することが予想される。
▲	家電量販店（店長）	・県内の米の基準価格が大幅にダウンし、米農家の消費行動が前年より下がると予想している。
▲	住関連専門店（経営者）	・厳しい寒さや降雪が多いという予報どおりになれば外出を控える人が増える。高齢者が対象の当店としては売上は厳しいことになるかもしれない。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・様々な生活環境の変化と石油製品の高値推移により、今後改善する要因がない。

	▲	タクシー運転手	・前年の今頃から新型コロナウイルスの感染が徐々に拡大していったことを踏まえると、心配な季節がやってくる。悪くなることがないように期待している。
	▲	通信会社（営業担当）	・物価上昇、ガソリン価格高騰、社会保険料改定等に伴い収入は現状維持で、小売業は薄利多売が予測される。
	▲	通信会社（営業担当）	・現状ではG o T oキャンペーン等の消費向上施策の実施時期は未定であり、当面景気の向上は期待できない。
	×	スーパー（経営者）	・食料品の値上げのみならず、これから冬場にかけてのガソリン、灯油等の価格高騰により支出が増加する。可処分所得が伸びないなかでの支出増加となる。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきているとはいえ、売上は完全には戻らない。冬期間はただでさえ来客数と売上が下がり厳しいのに、最低賃金が上がり、除雪代の支払も始まる。どうやって経営を続ければよいのか分からない。
	×	乗用車販売店（店長）	・新車納車が遅れている影響で、特に中古車販売の在庫不足が深刻な状況である。それに引きずられる形でオークション相場も高騰しているため、総じて回転の悪い市場環境である。価格面で購入を見送る客も多い。
企業 動向 関連	◎	建設業（企画担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少により、各種規制が緩和されることに伴う国民への心理的影響によって、景気が上向くとみている。
(東北)	○	農林水産業（従業者）	・年末にかけて、りんご収穫の最盛期に入る。天候にも恵まれ、例年どおりの品質になるものと期待している。
	○	食料品製造業（経営者）	・このまま新型コロナウイルス感染が収まってくれば、人の動きも良くなり売上の回復も見込める。感染の再拡大だけが心配である。
	○	食料品製造業（営業担当）	・まだまだ油断はできないものの、新規感染者数は減少しており、企業も一般消費者も新型コロナウイルス感染対策の意識が向上してきているので、経済活動との両立はそろそろできてくるのではないかとみている。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年度末に向けて売上が上がると予想している。
	○	金属製品製造業（経営者）	・非常に不透明ではあるが、客先からの情報では増産傾向にある。
	○	通信業（営業担当）	・東北はリモート商談がまだまだ進んでおらず、商談には対面式が必須である。緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除されて営業活動の制限がなくなったため、回復する見込みである。
	○	金融業（広報担当）	・秋の観光シーズンを迎え、ようやく観光宿泊業にも業況回復の兆しがある。米農家の買取り単価減少に伴う収入減少は懸念材料だが、人流活発化や地方公共団体の地元経済への後押しもあり、総じてみれば個人消費が上向く期待は大きい。
	○	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、イベント等も復活してくるであろうし、新しい形の広告・広報の在り方がはっきりしてくるとみている。
	○	経営コンサルタント	・冬を迎えて新型コロナウイルス第6波が来襲しなければ、年末にかけて確実に景気は上向く。
	○	司法書士	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少に伴う自粛ムードの沈静化がみられる。
	○	公認会計士	・緊急事態宣言が解除されて、人の動きが活発になりつつある。飲食、小売、サービス業などにも人が戻って来つつあり、建設業などが現状維持としても全体としては景気が良くなるとみている。
	○	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・新聞で見ると米国や欧州は良い状況に立ち直っているようだが、日本はまだそういった状況ではない。しかし、外部的な要因で日本も良くなっていくという希望は十分に持てる。また、今大変な状況にある自動車産業は、落ち着いた状況に戻るのではないかとみている。
	○	その他企業〔企画業〕（経営者）	・新型コロナウイルスへの対処が公的にもまた一般にも徹底され、観光への期待が高まることから良くなると考えている。
	□	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少しているが、景気の好転とは連動していない。地方での景気好転はまだまだ先である。
	□	窯業・土石製品製造業（役員）	・先行きは不透明であるが、需要面、景気の間でも明るい話題がない。

	□	電気機械器具製造業（企画担当）	・コロナ禍の半導体製品の品薄に伴う価格高騰においても大きな景気変化はなかった。よって、徐々に元に戻りつつある今後を考えても、景気としては大きな変化はないとみている。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・現在、取引先が所有している各設備について、予防保全ではなく事後保全での対応に移行して修繕費抑制を図っている。また、経年劣化や不具合発生に伴う設備更新においては、既設納入メーカー特命発注ではなく、競争発注による調達が増加している。こういった状況は今後も継続するものと想定している。
	□	建設業（従業員）	・選挙の結果次第では工事の発注量が変わることが見込まれるため、様子見の状況である。
	□	建設業（従業員）	・現在発注されている官庁案件、民間案件のなかから、年末に向けて一定数の受注が見込める。
	□	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少してきたことで、景気は少し上向いていくとみているが、第6波と原油価格の高騰が懸念材料である。特に原油価格高騰は、業界として燃料代がもろに影響を受けるほか、石油製品であるタイヤやエンジンオイル等々も値上がりするので、業績を圧迫することが予想される。
	□	通信業（営業担当）	・業界に対する世間の環境は今後も厳しくなると思われ、明るい状況になりそうにない。
	□	広告業協会（役員）	・第6波が来るかどうかで状況が一変する不安定な状態では、見通しを判断するのは難しい。現状が続くようであれば、街中に人が戻って経済活動が活発になり、2年ぶりに広告業界の業績が改善することが期待できる。
	□	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・県内に居住する人の外食は回復していくとみている。一方で、観光関係は回復に至らない。
	□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・原材料等々の価格高騰分を価格転嫁できない状況下にある。また、新規案件も依然として価格競争になっており、収益が厳しくなっている。
	▲	広告代理店（経営者）	・引き続き自動車販売などで半導体不足の影響による伸び悩みが予測され、発注量など削減の影響が長引きそうである。
	▲	コピーサービス業（従業員）	・今後、オフィス家具の仕入価格の上昇や物流関係の値上げなどが見込まれているが、全て販売価格に転嫁できるかは不透明である。
	×	農林水産業（従業者）	・新型コロナウイルスの影響で米の消費量が減り、今後もその傾向は続くことが予想される。
雇用 関連 (東北)	◎	人材派遣会社（社員）	・各派遣会社とのやり取りから、企業からの問合せが増えてきており、求人意欲が非常に高まっていることを感じている。この傾向は、現在新型コロナウイルスの感染が収束している状況での年末を見据えた企業の経済活動の現れとみている。求人数が増えていることや派遣会社への問合せが前月より大幅に増えてきていることから、今後も回復基調が継続するのではないかとみている。
	◎	人材派遣会社（社員）	・求人数の増加に伴い、求職者数も増加傾向にあるため、マイナス要因は余りない状況である。
	◎	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・旅行意欲は非常に高まっている。飲食についても現状は様子見しながら少人数での会合にとどまるが、以前どおりの会合、会食に戻ってくると予想している。選挙後の政府の景気対策も大いに期待したい。
	○	人材派遣会社（社員）	・求人増加傾向も当面続くとみている。緊急事態宣言が明けたことで消費が戻りつつある。
	○	アウトソーシング企業（社員）	・新型コロナウイルスも落ち着いてきたので、会議も増えることを期待している。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染の鎮静化により社会生活が徐々に回復するとみている。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・飲食店応援や観光のキャンペーンがスタートしている。公務員が率先して飲食店を利用する動きも始まり、経済活性化が期待できる。
	○	職業安定所（職員）	・現在、洋上発電の建設などで作業員の飲食、宿泊需要により新型コロナウイルスの影響を受けやすい飲食店や宿泊施設が逆に好調な状態にある。洋上発電工事は当面継続する。

○	職業安定所（職員）	・新規求人数と有効求人数について前年の9月と今年の9月を比較すると、新規求人数で約300人、有効求人数で約500人増加している。また、自動車メーカーの減産体制が今年の11月で終了し、12月から通常の生産体制に戻るとの情報があり、自動車部品製造工場での懸念が払拭されている。
○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染が収束傾向になったことで、観光を始めとする経済活動が活性化されるものの、円安などによる輸入品、原材料の価格高騰を企業が負担せざるを得ない状況があり、急激な回復とはならない。
○	職業安定所（職員）	・新規感染者数の減少傾向が続いており、飲食業、観光業を中心に期待の声がある。
○	民間職業紹介機関（職員）	・2～3か月前と比べ生産数が徐々に回復している傾向がみられる。
○	学校〔専門学校〕	・第6波が懸念されるが、このまま県内の新型コロナウイルスの感染状況が継続すれば、経済活動は少しずつではあるが回復が見込まれるとみている。
□	人材派遣会社（社員）	・各企業いずれも様子を見ている感じが強く、依頼数に大きな変化はない。年内若しくは年度内はこの動きが続くそうである。
□	人材派遣会社（社員）	・現状決して良くなっているとは思えず、これからの第6波の懸念もあるため先行きは不透明である。
□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス終息傾向の中、求人数は上向きになっており景気は好転する予測もたつが、一方で飲食サービス業などの立ち上がりが鈍い。また、半導体不足などで製造ラインが正常どおり動かないなど不安要素がある。総選挙を前にした新政権に対して手探り感もあり、しばらくは一進一退の状況が続くとみている。
□	職業安定所（職員）	・国内での新型コロナウイルスの新規感染者数は落ち着いているものの、海外に左右されるサプライチェーンの影響や、新型コロナウイルス第6波の襲来が懸念される。
▲	—	—
×	—	—